

# 朝日連峰 スキー縦走

1981.4/28~5/4  
遠山茂樹 記

4/29朝日急行おろ3号 福島駅で故障。おかげで6:15発のバスに乗り遅れ、結果的に同沢からはタクシーとなった。10:15大井沢着。ひとりでさびしく出発準備していると、同じコースを天狗まで行くという仲間が表われた。オハガマのソロ山師の人で、天狗で一泊し、4/30に同コースを下山とのこと。竜ヶ岳への登りの焼峰以外はシールを使用できた。竜ヶ池付近は夏道からかなりはがれたコースをとった。雨量観測所の手前の斜面はよかった。初日でもあり、つかれていて滑る余裕がなかった。心のこりた。標準コースは4.5のところ5.5Hかまて16:15天狗小屋に到着。新築の2階建。先客が一人。3人で占領した。4/30 5:00起床。天気は雨。朝メシを済ませて、朝帰。一瞬、太陽が顔を出した。つらねて起きて、二度目の朝メシ。また雨。それで、10:30先客と出発。視界の悪い中を約5Hで狐穴小屋へ。この小屋はガスが出たまま見つけられない。幸い着いた時はガスが少なかった。しかし雨と汗で全身ぬれていて気分が悪い。小屋も天狗とは大違いで、暗くて狭い。雨たりに占領。置きりの燃料でバーナを全開、服は半乾きとなり、なんとかシラフの中へところか負持悪くてほとんど眠れず。5/1 5:00起床。雨とガスで、視界5m。あきらめて、停滞。小屋の中を点検すると燃料の他に置きりの食料が、ひとりで2回分はゆらにある。拝借してヒマつぶしに腹こいて。5/2 晴 6:00発。西朝日と中岳の斜面を滑り

よく滑って、大朝日小屋 10:30着。翌日の視界が心配なの？ 前進しようか、Y字雪渓で逃げようかまよりにまよって、結局、中岳頂上へ入ソウカ沢を滑ることにした。5.3と適度な斜度で、快適であった。3:30スキーを打切って小屋へ。最初小屋へ入ったときは自分だけだったが、2100m、10数人が入っていた。今までの小屋は独占状態だったから、さすがに大朝日小屋である。4:00に天気図を描いた。佐賀王が韓国と九州に来ており、5/3の天気はダメだと半ばあきらめたが、午前中はなんとか持つだろうと気をとり直し、夕食を早くに完結して5/3 5:30起床。朝焼のけいはい。よここいさんで、カレーメシを朝メシ。4:40朝焼の真赤は太陽を見ながら出発。大朝日を下り、平岩山への途中でテント発見。横を通り抜ける時、女の子が顔をだし、「アスキーを持ってるとの好奇の目にしたじじいになった。無理もない、大朝日~平岩山は雪が多いのである。御影森山からは雪が多くなり、コースの半分は滑降可能。従ってスキーの着脱にリズカマしいこととなった。1分程度で着脱ができてきたところまで上達した。1423mピークからと中沢峰からの下りかよかった。他はいざりも短かして、かまかり。ハ形峰から葉山へのコースは全体になたらかいて、現在地の確認が非常におずかしい。初めてで、ガスが少し出たらお手上げになる。半分コースに不安を感じながら12:35葉山神社に着。大休止、腹こいて13:15出発。葉山から折り返すの向き尾根から出てガスが少なくなり、行動が楽いところ。15:00発、

本当に迷ってしまった。ガスが少し出たら視界が悪くなりだした。尾根上から長井市の方向を見て、学校の位置と特長のある峰を見つけ、ひとつ手前の尾根と下ろうとしているのに気づいて、コース修正。下山路の標識を発見して一安心。おすく傾斜のゆるい、ジグザグコースへ出た。後で、バスの運ちゃんに聞いたら、夏になると長井市民が葉山神社へ登るため道がよき整備されているとのこと。山菜を取りながら無事巾着へ16:30に到着。実に行動時間12Hである。おなかから、お体力に感心したところである。

